

コロナ禍における当社の状況について

- I. 弊社の概要
- II. 路線バスの月別収入の推移
- III. 全国と県内の乗合バスの推移
- IV. 広陵町運行路線の収支状況
- V. 効率化実施状況
- VI. 真美ヶ丘線時間帯別利用実態（五位堂駅行き）
- VII. 真美ヶ丘線時間帯別利用実態（五位堂駅発）
- VIII. ご利用促進策

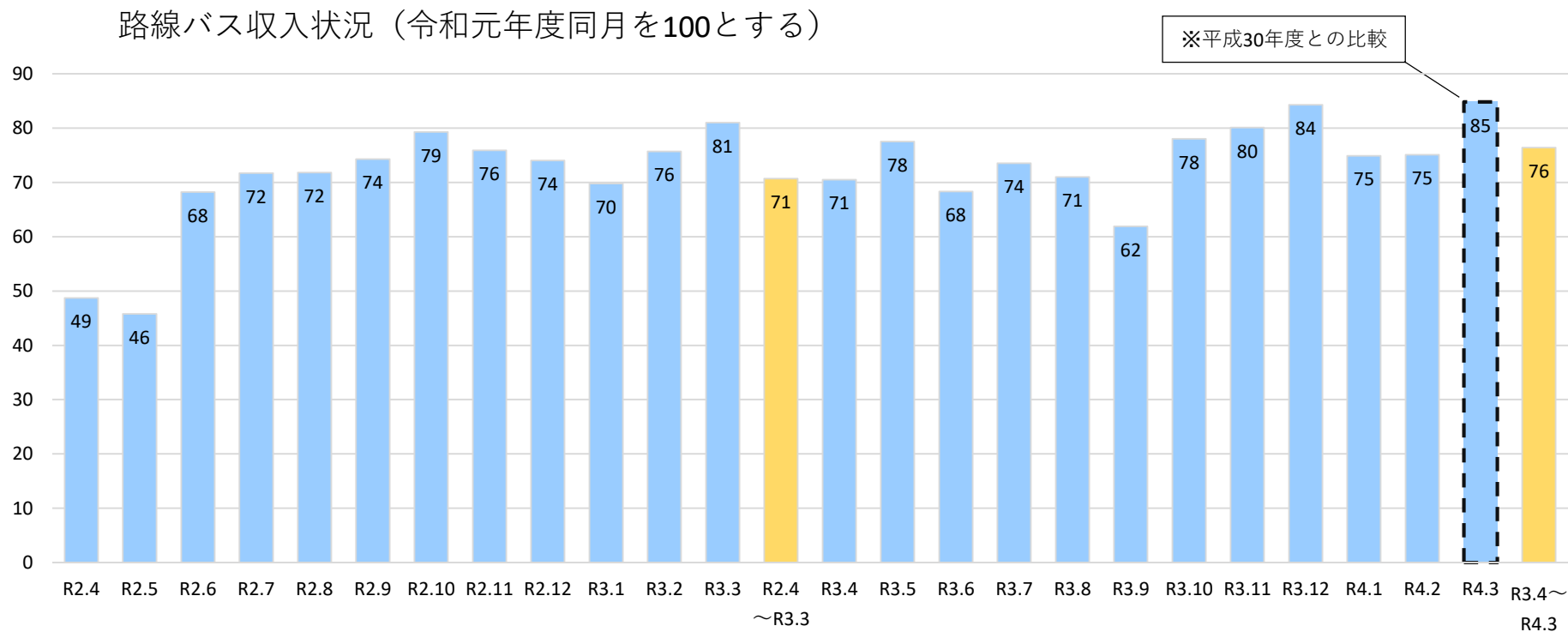
（参考）運行系統図：西大和営業所

I. 弊社の概要

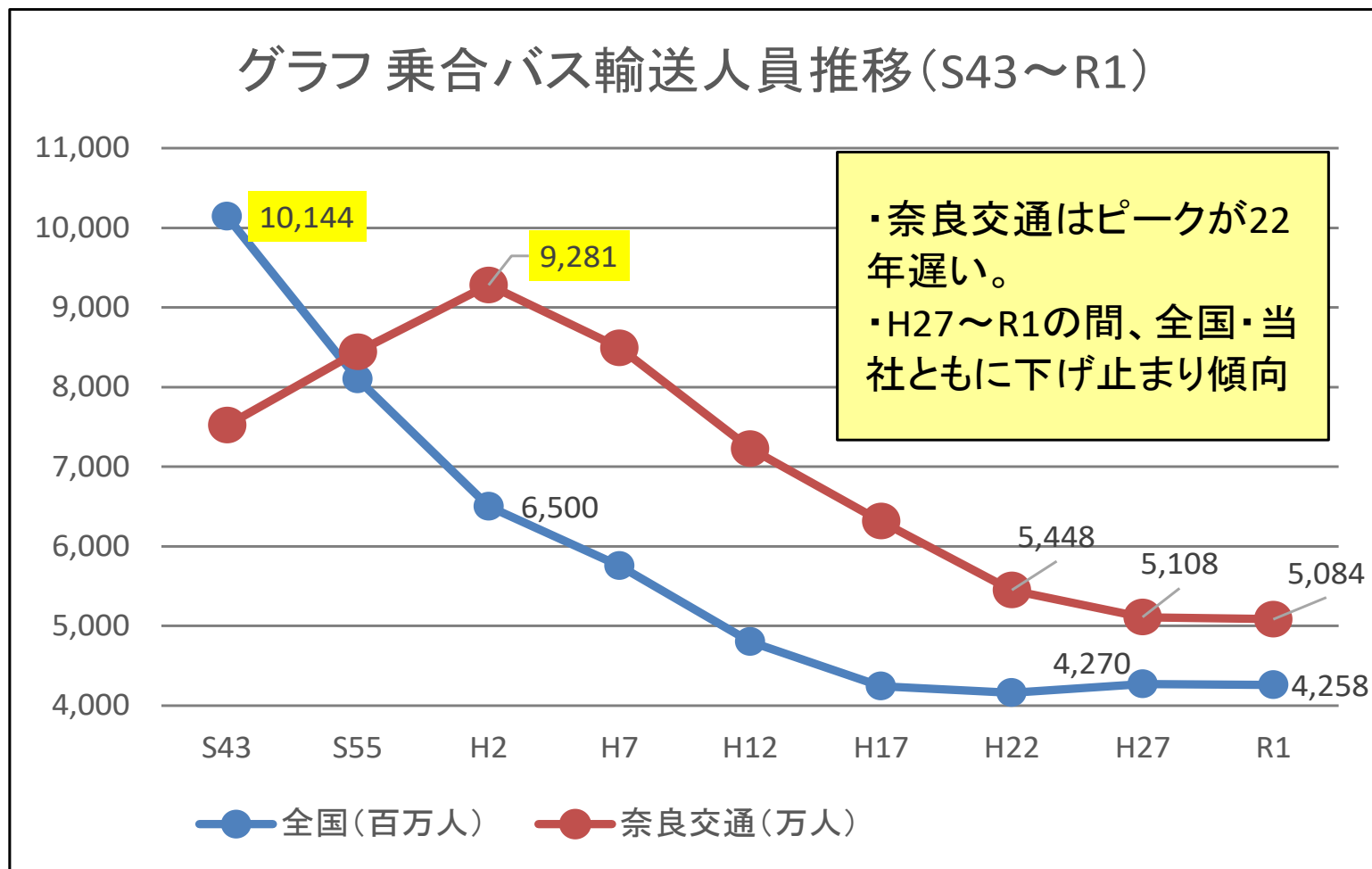
設立	昭和4年1月20日（当社の前身の奈良自動車(株)設立） ※昭和18年7月23日 奈良交通(株)に商号変更	
本社所在地	奈良県奈良市大宮町1丁目1番25号	
代表者	取締役社長 森島和洋	
資本金	12億8,593万円	
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車事業 <ul style="list-style-type: none"> ・乗合事業 ・貸切事業 ・特定旅客事業 ・旅行事業 ・乗用事業 ○生活創造事業 <ul style="list-style-type: none"> ・不動産事業 ・飲食事業 ・駐輪場駐車場事業 ・自動車教習所事業 	
売上高	146億9,300万円	
従業員数	1,501名（出向者を除く）	
車両数	乗合バス632両（うち定期観光バス4両） 貸切バス116両	

※数字は令和4年3月31日現在

Ⅱ. 路線バスの月別収入の推移



Ⅲ. 全国と県内の乗合バスの推移



IV. 広陵町運行路線の収支状況

路線名	関係市町村	R3年度実績							
		経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金 ・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込 損益 C+D (千円)	R1年度を 100とする 指数
王寺五位堂	香芝市、上牧町 王寺町、河合町	126,000	104,000	22,000	121.2			22,000	105
真美ヶ丘	香芝市、河合町	122,000	148,000	△ 26,000	82.4			△ 26,000	80
高田新家	大和高田市	6,000	12,000	△ 6,000	50.0	6,000	国・市町村	0	86
奈良文化高校	大和高田市	6,000	6,000	0	100.0			0	86
高田イオンモール	大和高田市、橿原市	35,000	47,000	△ 12,000	74.5	6,000	国・県 ・市町村	△ 6,000	92
合計		295,000	317,000	△ 22,000	93.1	12,000		△ 10,000	91

V. 効率化実施状況

○都市部を中心に利用実態に見合った効率化計画を実施

令和2年3月～令和3年10月にかけて175路線（重複含む）において、
 車両△25両 運転者△81名 年間実車走行キロ △2,286千km
 （全体の11.7%相当）の効率化を実施。

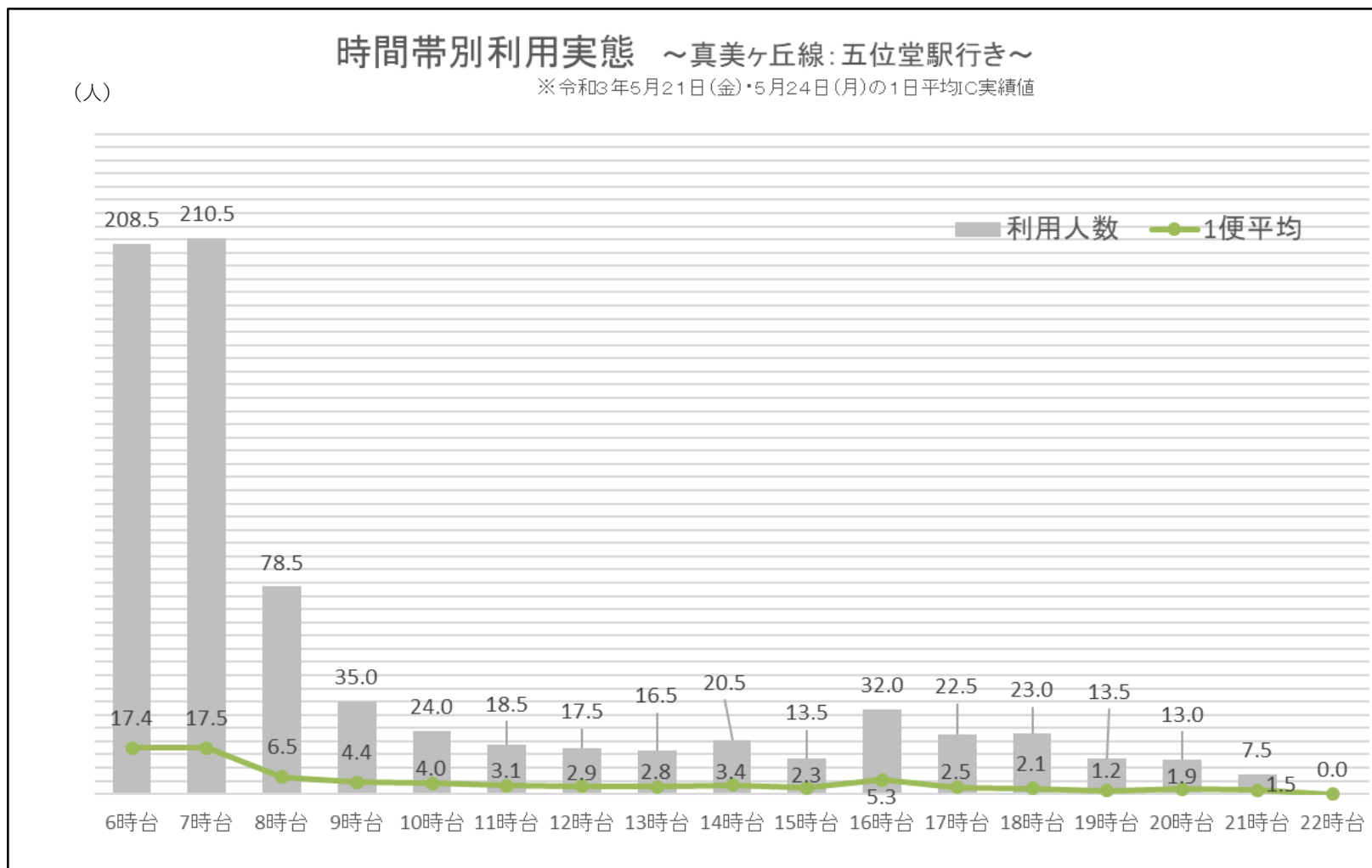
○運行計画（真美ヶ丘線）

運行系統			系統 キロ	運行回数			備考
起点	経過地	終点			R3.10	R2.2	
五位堂駅	馬見南四丁目	馬見北三丁目	3.8	平日	23.5	28.0	△ 4.5
				土曜	18.0	23.0	△ 5.0
				日祝	15.5	19.5	△ 4.0
五位堂駅	馬見北九丁目	馬見北一丁目	3.0	平日	43.5	46.5	△ 3.0
				土曜	25.5	38.5	△ 13.0
				日祝	22.0	35.0	△ 13.0
五位堂駅	真美ヶ丘 センター	馬見南二丁目	3.3	平日	36.0	38.0	△ 2.0
				土曜	26.5	39.5	△ 13.0
				日祝	24.5	36.5	△ 12.0
五位堂駅	馬見北三丁目	馬見丘陵公園	5.0	平日	16.0	16.0	0.0
				土曜	8.0	10.0	△ 2.0
				日祝	8.0	10.0	△ 2.0

・令和2年3月
 全日：夜間帯を減便

・令和3年10月
 土日祝日：昼間帯を減便

VI. 真美ヶ丘線時間帯別利用実態（五位堂駅行き）



Ⅶ. 真美ヶ丘線時間帯別利用実態（五位堂駅発）



VIII. ご利用促進策

○「新たな生活様式の定着」をふまえた運賃制度への見直し

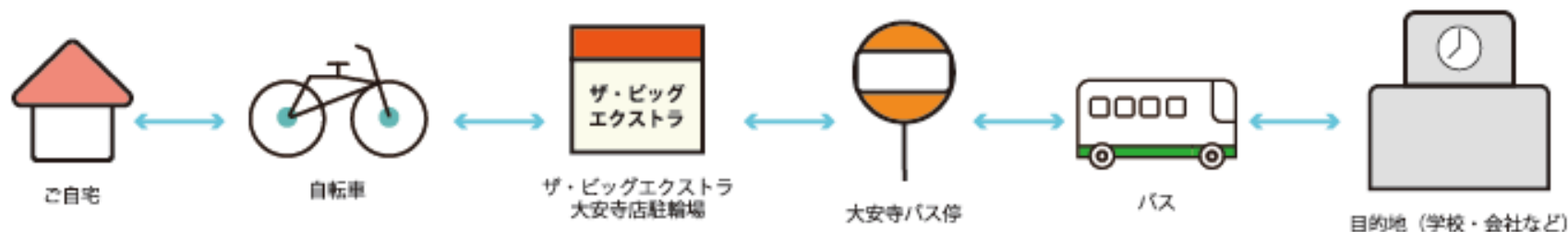
令和4年度中に「非対面・非接触」「キャッシュレス」「購入機会拡大」「マイクロツーリズム促進」「自動継続」に資するサブスクリプション型金額式定期券の導入とWEBでの販売を計画中。



CI-CA plus
シーカプラス

○サイクル&バスライド駐輪場整備の促進

「ラストワンマイル」「カーボンニュートラル (SDGs)」「交通環境 (渋滞対策)」「路上駐輪自転車対策」の促進策として、商業施設などと連携して駐輪場を整備することで、幹線路線バス停へ旅客を誘導し、既存バス利用者の増加を図る。



※「大安寺」「宮跡庭園・ミナーラ前」「白土町」バス停で実証実験を実施。
今後本格実施および拡大を検討中。

(参考) 運行系統図：西大和営業所 (五位堂駅～王寺駅付近)

